



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月11日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 大
 コード番号 7997 URL <http://www.kurogane-kks.co.jp/>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)神足 泰弘
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)神足 尚孝 (TEL)06(6538)1010
 四半期報告書提出予定日 平成24年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	2,410	△10.5	39	△8.8	28	8.3	21	△58.7
23年11月期第1四半期	2,693	3.5	43	53.6	26	117.6	52	△37.1

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 137百万円(49.1%) 23年11月期第1四半期 92百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年11月期第1四半期	円 銭 1 28	円 銭 —
23年11月期第1四半期	3 11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年11月期第1四半期	百万円 10,629	百万円 3,614	% 33.8
23年11月期	10,457	3,476	33.1

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 3,597百万円 23年11月期 3,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年11月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,800	4.1	110	16.5	80	45.9	80	2.5	4 69
通期	11,300	5.3	190	20.5	140	63.9	130	19.9	7 63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	18,571,139株	23年11月期	18,571,139株
24年11月期1Q	1,529,803株	23年11月期	1,529,591株
24年11月期1Q	17,041,389株	23年11月期1Q	17,041,978株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要の顕在化に伴い、景気回復へのきざしがみられたものの、円高の進行、米国・欧州諸国の景気後退の懸念等により依然として先行きの不透明感がぬぐえない状況が続きました。

当業界におきましても、公共投資の大幅な削減や民間設備投資の低迷による建設業界の過当競争の影響を受けて、建築付帯設備部門、設備機器部門、事務用家具部門では、安値受注競争が常態化してきており、極めて厳しい経営環境下にありました。

このような市場環境のもと、当社グループは売上・利益を確保するために新製品開発・投入、新規取扱商品の拡大、ヘルスケア関連施設・各種研究施設市場での売上の拡大、既存ユーザーへのメンテナンス営業の強化等に鋭意努力するとともに、価格競争力強化のために製品毎のコスト削減の徹底、全グループ会社間の重複業務の排除、直間比率の改善、部材・サービスの仕入調達の見直し等に鋭意努力してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,410百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益は39百万円（前年同四半期比8.8%減）、経常利益は28百万円（前年同四半期比8.3%増）、四半期純利益は21百万円（前年同四半期比58.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(家具関連)

主力のオフィス家具需要は依然として厳しい環境下にありましたが、外資系企業等へのソリューション営業、ヘルスケア関連施設、各種研究施設、学校教育市場等への積極的営業に取り組みました。

その結果、家具関連の売上高は1,699百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益は93百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。

(建築付帯設備機器)

主力の懸垂式引戸「アキュドユニット」は機能面で市場において高い評価を受けており、バリエーションの多様化による病院等ヘルスケア関連施設、高齢者関連施設の治療・療養環境創りに関するソリューション提案型営業を推進し、売上・利益を確保するために鋭意努力しましたが、建築工事の遅延により大口案件の納期が第2四半期以降になったこともあり、建築付帯設備機器の売上高は711百万円（前年同四半期比27.0%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比85.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況について

(資産)

当第1四半期連結会計期間の総資産は10,629百万円となり、前連結会計年度末に比べて172百万円増加いたしました。この主な要因はたな卸資産が428百万円、投資有価証券が89百万円増加し、受取手形及び売掛金が398百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は7,015百万円となり、前連結会計年度末に比べて34百万円増加いたしました。この主な要因は支払手形及び買掛金が45百万円、長短借入金が増加し、再評価に係る繰延税金負債が55百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は3,614百万円となり、前連結会計年度末に比べて137百万円増加いたしました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が58百万円、土地再評価差額金が55百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では平成24年1月17日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬に関する会計基準」及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,121,881	1,154,553
受取手形及び売掛金	2,051,422	1,652,735
商品及び製品	593,210	616,572
仕掛品	889,460	1,266,399
原材料及び貯蔵品	236,744	265,230
その他	124,152	72,334
貸倒引当金	△6,574	△3,842
流動資産合計	5,010,298	5,023,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,896,881	1,895,472
土地	2,375,281	2,375,281
その他(純額)	151,682	187,303
有形固定資産合計	4,423,846	4,458,057
無形固定資産		
	31,656	53,751
投資その他の資産		
投資有価証券	867,424	957,042
その他	176,374	179,765
貸倒引当金	△52,191	△43,004
投資その他の資産合計	991,607	1,093,803
固定資産合計	5,447,110	5,605,613
資産合計	10,457,408	10,629,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,000,354	2,045,511
短期借入金	1,533,380	1,633,000
1年内返済予定の長期借入金	688,873	678,592
未払法人税等	29,060	9,105
受注工事損失引当金	10,123	—
賞与引当金	—	16,425
その他	632,937	610,914
流動負債合計	4,894,730	4,993,550
固定負債		
長期借入金	1,092,901	1,057,996
退職給付引当金	255,912	269,587
役員退職慰労引当金	10,438	10,438
再評価に係る繰延税金負債	467,425	411,890
製品自主回収関連損失引当金	2,222	2,222
リース債務	75,903	113,201
その他	181,117	156,489
固定負債合計	2,085,920	2,021,825
負債合計	6,980,650	7,015,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,456	2,998,456
利益剰余金	△3,612	18,248
自己株式	△157,132	△157,145
株主資本合計	2,837,711	2,859,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34,769	23,302
繰延ヘッジ損益	344	533
土地再評価差額金	658,941	714,477
その他の包括利益累計額合計	624,516	738,312
少数株主持分	14,529	16,348
純資産合計	3,476,757	3,614,220
負債純資産合計	10,457,408	10,629,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	2,693,166	2,410,733
売上原価	2,177,495	1,858,017
売上総利益	515,670	552,716
販売費及び一般管理費	472,150	513,047
営業利益	43,519	39,669
営業外収益		
受取利息	10	13
受取配当金	5,716	4,667
持分法による投資利益	—	161
仕入割引	2,857	4,314
その他	733	5,506
営業外収益合計	9,318	14,663
営業外費用		
支払利息	18,014	20,190
その他	8,200	5,318
営業外費用合計	26,215	25,509
経常利益	26,623	28,823
特別利益		
投資有価証券売却益	41,545	133
特別利益合計	41,545	133
特別損失		
固定資産除却損	—	51
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,317	—
特別損失合計	9,317	51
税金等調整前四半期純利益	58,851	28,906
法人税、住民税及び事業税	5,236	5,230
法人税等調整額	24	△3
法人税等合計	5,260	5,226
少数株主損益調整前四半期純利益	53,590	23,679
少数株主利益	645	1,818
四半期純利益	52,944	21,860

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	53,590	23,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,124	58,108
繰延ヘッジ損益	△2,504	188
土地再評価差額金	—	55,535
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△37
その他の包括利益合計	38,620	113,795
四半期包括利益	92,211	137,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,565	135,656
少数株主に係る四半期包括利益	645	1,818

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,718,276	974,890	2,693,166	—	2,693,166
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	1,718,276	974,890	2,693,166	—	2,693,166
セグメント利益	77,924	20,670	98,594	△55,075	43,519

(注) 1 セグメント利益の調整額△55,075千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,699,260	711,473	2,410,733	—	2,410,733
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	1,699,260	711,473	2,410,733	—	2,410,733
セグメント利益	93,546	3,085	96,631	△56,962	39,669

(注) 1 セグメント利益の調整額△56,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。